

木材加工をベースに機械加工の可能性を拡大し

新しい日本のモノづくりを提案する **Machining JP**

CORE

新産業メディア
マシニングコア

2012年11月号



2年ぶりに開催した 宮川テクノフェア 最新技術を一挙に展示

宮川工機(株)(本社・愛知県豊橋市花田町字中ノ坪53番地、宮川嘉隆社長)は11月9日、10日の両日、愛知県豊橋市の本社で宮川テクノフェア2012を開催し、プレカット生産技術の最新ラインアップを紹介した。

約30年にわたって木造住宅プレカットを通じて住宅産業、木材流通業界とともに歩んできた宮川工機はテクノフェアにあたって次のようにプレカット産業の現状と今後を分析し、同社の取り組みを紹介した。「近年は木造軸組工法住宅のほとんどがプレカットされた構造部材で建てられるようになってきている。今後新たにプレカット事業に参入する企業も少なく、同時に既存のプレカット工場の抱える問題点も多様化してきている。今後も個々の問題点に対応した設備提案を行い、プレカット事業の発展に貢献していく」

在来木造軸組工法への取り組み

多種加工機の導入を通じた手加工作業の削減と製造設備の生産性向上、金物工法のシェア拡大に伴う在来・金物混構造に対応した設備の提案は2年前のテクノフェアで紹介した取り組みだが、今年度販売した構造材設備へのMPS-54(多種加工機)設備率は60%、在来工法用構

造材加工機の金物対応率は80%になっている。最近では既存の生産設備に一部設備を追加して生産性向上や対応可能部品種類の向上を図るプレカット工場が増えてきている。今回展示したMPS-34KBはこうした要望への対応として開発した。

2×4工法への取り組み

2年前に発売したMPC-25は在来工法プレカット工場の羽柄材加工機として導入されるだけでなく、2×4工法部材工場でも2×4～10の部材加工に導入される場合も多くなり、2年間に27台のベストセラーとなっている。他社製2×4CADでの稼動についてもほぼすべてのメーカーでの実績がある。今後は特殊部材のサポートや加工形状の多様化等の市場要求に対応した開発を重点的に実施していく。

サイディングへの取り組み

サイディング販売事業を行っている事業者には1台納品し、フル生産状態で稼動している。非木材加工システムとして多くの問題を解決しつつ、完成度の高い加工機として広く使用してもらえよう取り組んでいる。

CADへの取り組み

MPCAD8は納入実績500台と

着実に普及している。CADオペレーター、プレカット管理者から多くの意見を得、より高機能で高性能に着実に進化している。今後も広くプレカット工場から高生産なCADの要望を得、生産性向上に注力していく。

生産支援システムへの取り組み

プレカット生産設備は生産業務の効率化や合理化には多くの成果を上げたが、生産を管理する業務についてははまだ経験に基づいた高度な判断を必要としており、生産管理業務の効率化や合理化についてはこれからといった面がある。生産設備から吸い上げられる情報、CAD情報を生産管理業務に有効に活用すべく生産支援システム(プレイン8)を開発した。これにより受注物件がいつ生産できるか、生産するための原材料は揃っているか、出荷予定が繰り上がった場合に生産可能かなど、生産管理業務に必要な判断材料を供給するだけでなく、定量的な判断をしてくれるシステムになっている。次世代のプレカット生産管理システムとして普及が期待される。

エコの提案

宮川工機は二酸化炭素削減に向けたチャレンジ25キャンペーンに参加。2年前のテクノフェアで取り組みを紹介したが、今回も工場照明の高効率化、集塵口の自動閉止とファンモーターのインバーター制御による効率運用、油圧動力のインバーター制御運転による省エネ化、動作監視機能による無駄の削減、刃物交換時期を知らせる機能、動力監視による意識改善(見える化)、太陽光発電の導入など無駄の削減や省資源対応設備の導入などを提案した。

【詳細は MachiningCore 2012年10月号】



日本木工機械工業会 統合後初の 優良社員表彰式 15社・26名の功労称える

(一社)日本木工機械工業会(宮川嘉朗理事長)は11月22日午前10時30分から愛知県名古屋市中区錦の東京第一ホテル錦で新生・日本機として初の平成24年度優良社員表彰式を挙行し、会員企業15社の26名を優良社員として表彰した。

伊藤正祥顧問が司会進行した表彰式では宮川理事長が挨拶して優良社員26名に対し「多年にわたり日々精励ご努力されたことが各企業発展の大きな原動力となっておりますことは申し上げるまでもございません。皆様方は、人格・識見・技能において共に優れ、いずれも他の模範となるにふさわしく、その功労に心から敬意を表するものであります」と功労を称え、「今後とも、健康に十分に留意され、健全な家庭生活を営まれますことを願いたします。また、職場にありましてはプロ意識に徹し、良きリーダーとして、一層ご尽力されますことを願いたします」と今後を期待した。この日表彰を受けたのは次の26名。(敬称略)

▽アマテック(株)(製造本部部品加工部主任)和田好史▽飯田工業(株)(業

務部業務課主任)波多野克俊▽井上電設(株)(営業部部長)名倉芳隆▽(株)大井製作所(製造部ウイ業技術1課係長)柴本康由▽兼房(株)(製造統括部工機課電気係長)塚本光雄

▽兼房(株)(製造統括部品質保証課品質保証係長)丹羽勝紀▽兼房(株)(製造統括部資材課商品仕入係長)恩田美博▽兼房(株)(総務部人事課人事係長)斎藤鋼樹▽キクカワエンタープライズ(株)(営業部長)湯田康宏▽▽キクカワエンタープライズ(株)(総務課長)楠木真由美▽木村刃物製造(株)(商品業務課係長)富岡健志▽庄田鐵工(株)(営業部課長)神谷元昭▽(株)太平製作所(開発技術)谷田重富▽(株)太平製作所(開発技術)奥田朝雄▽(株)太平製作所(開発技術)西岡英智▽橋本電機工業(株)(営業部S1グループ副主事)佐伯秀樹▽橋本電機工業(株)(営業部D1グループリーダー)神谷智仁▽(株)平安コーポレーション(製造部機械課主任)鈴木嘉夫▽(株)平安コーポレーション(製造部組立課主任)加藤真太郎(株)松岡カッター製作所(生産本部業務部部长)池田雅明▽(株)丸仲鐵工所(製造部資材課)山崎恵美▽宮川

工機(株)(営業技術部二課係長)岡本正人▽宮川工機(株)(営業部一課課長代理)鈴木健示▽(株)名南製作所(開発部)大塚敏行▽(株)名南製作所(製造部)横田正信▽(株)名南製作所(製造部)中山哲次

宮川理事長は挨拶の中で国産材の自給率50%を目指す政府施策の着実な成果、高性能林業機械の普及や木材乾燥の効率化、LVLやCLTなどエコマテリアルの木材を最大限に利活用する技術開発などとともに、今年5月の発足以来の日本木工機械工業会の動きについてふれ、日本木工機械展/ウッドエコテック2013(名古屋国際木工機械展/ウッドエコテックを改称)の開催決定(2013年11月6~9日、ポートメッセなごや、テーマは「木の国日本、国産材加工の“すべて”を見せます」)、木工機械だけでなく刃物、乾燥機、ボイラー、集塵機、搬送装置など周辺機器メーカーへの幅広い加入促進による組織の拡大(統合時35社だった会員数は北は北海道から西は広島まで19社増の54社に拡大予定)について報告し、木機展・日本を木材加工産業のニーズ、近未来のトレンドを示す必見の展示会とし業界関係者が名古屋に集結する一大イベントとして業界発展に寄与していく意向を語った。

【詳細は MachiningCore 2012年10月号】